

令和元年度第3回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者	馬場 真の輔
-----	--------

日時	令和2年1月27日(月)	時間	午後1時30分～午後2時40分
場所	始良市役所 本館2階 大会議室		
出席者	<p>委員 湯元委員、國村委員【代理出席】、齊脇委員【代理出席】、華江委員、西森委員【代理出席】、新地委員【代理出席】、上川委員、西委員、佐藤委員【代理出席】、徳丸委員【代理出席】、山口委員【代理出席】、鬼塚委員、徳永委員、竹田委員、山口委員、野口委員、古市委員、若月委員、諏訪脇委員、川原委員、柳鶴委員、宮田委員、竹下委員、田代委員【代理出席】、岩下委員、鐘ヶ江アドバイザー</p> <p>事務局 地域政策課、社会福祉課、加治木地域振興課、蒲生地域振興課</p>		
議長	会長 湯元 敏浩(始良市長)		
資料	事前配布資料 当日配布資料1(予約型乗合タクシー試験運行後アンケート) 当日配布資料2(公共交通こども絵画展 2020)		
傍聴者	なし		

会議内容

(会次第)

1 開会

2 委嘱状交付

山口氏(始良市民生委員児童委員協議会連合会)に委嘱状を交付。

3 会長あいさつ

4 議事

【報告事項】

- (1) 竜門校区、永原校区、中野地区、上名地区予約型乗合タクシー試験運行結果について事務局より、事前配布資料に沿って説明した。
 ⇒質疑なし。了承。

(2)「始良市公共交通フェア 2020」の進捗状況について

事務局より、事前配布資料に沿って説明した。

⇒質疑なし。了承。

(3) 大山地区予約型乗合タクシーの運行車両の追加について

事務局より、事前配布資料に沿って説明した。

⇒質疑なし。了承。

(4) 地域間幹線系統確保維持に伴う減便について

事務局より、事前配布資料に沿って説明した。

西 委 員

鹿児島交通は北薩地域の一部を除き、県内全域において路線バスを運行している。そのうちの 82%は赤字路線であり、18%の黒字路線のほとんどは鹿児島市内を運行している路線である。地方を走る赤字路線においては、沿線自治体から補助を受けて運行しているが、補助対象とならない赤字路線も少なくない。

また、鹿児島交通には約 800 名の運転手が在籍しているが、退職者が多く、ここ 10 年間で約 100 名少なくなった。これまでは企業努力により運行を継続させていたが、それも難しい状況となり、これまで重複していた路線を廃止や減便等を行い、効率化を図ることとなった。

2種免許の取得者の 60%以上が 60 歳代以上であり、今後も運転手不足は課題となっていくと予想される。

鹿児島県庁では、毎週水曜日に公共交通の利用促進日と定めて、利用者の増加に努めてくれている。市町村からもこのような取り組み等で市民に対して利用を促してほしい。

委 員

免許返納を進めている鹿児島県警察本部は公共交通の減便等についてどう思われているのか。

華 江 委 員

自主返納者は昨年に比べると増加傾向となっている。免許を返納しても生活の足が確保されるよう公共交通は確保していただきたいとは思っている。

委 員

鹿児島交通の現状は理解したが、南国交通はどのような現状であるのか。

上 川 委 員

南国交通が運行している路線バスも輸送人員は年々減少している。また、運転手不足も深刻な課題となっている。

運転手の高齢化だけでなく、国が進める「働き方改革」により現状の路線を継続させることが難しくなってきた。

ダイヤ改正により、現状を維持することが精いっぱいであり、輸送人員の少ない枝線については、デマンド型の新たな運行形態へシフトさせていくことが必要ではないかと考えている。

会 長

鹿児島県庁では水曜日に公共交通の利用促進日とされているとあったが、利用状況はどうですか。

齊協委員 当該取組は環境保全の観点からも実施されているものであるが、公共交通の利用も増えているのではないかと考える。

会 長 本市と鹿児島市内とは公共交通環境が異なるが、これからは本市もこのような取り組みができていければと思います。

この他にご意見等がありますか。

⇒質疑なし。了承。

(5) 福祉有償運送事業者の登録抹消について

事務局より、事前配布資料に沿って説明した。

委 員 これまで福祉有償運送を利用していた方の今後の移動手段について、詳細に説明してほしい。

事 務 局 実際に利用されていた 14 名の方に聞き取り調査を実施したところ、すべての方に代替手段が確保されていることを確認できた。

委 員 福祉有償運送事業者が事業廃止となった原因は利用者の減少によるものだと聞いている。また、その利用者の減少の主な理由は、市の福祉部局が交付している高齢者保養券がバス・タクシーまで利用内容を拡大させたことだと思われる。

もっと市役所の内部で事業について共有していれば、この事態はふせげたのではないかと。

会 長 この他にご意見等がありますか。

⇒質疑なし。了承。

【協議事項】

(1) 蒲生地区巡回バス(くすの湯・久末線)のバス停の新設について

(2) 加治木地区循環バス(循環線)のバス停の新設について

事務局より、事前配布資料に沿って協議事項(1)(2)を一括して説明し、承認を求めた。

会 長 事務局から説明がありましたが、交通安全の観点から始良警察署から何かご意見等はありませんか。

華江委員 どちらの新設箇所を交通安全上は問題ないと思われるが、蒲生地区巡回バスの新設箇所は区画線が消えかかっていたため、バス停を設置するまでに区画線を引き直してもらう必要がある。

田代委員 本日、始良警察署の方と現場にて確認を行った。早急に対応していきたい。

委 員 今回の件とは直接は関係ないが、バス停に椅子を設置しないのか。

事 務 局 バス停を設置するとなると、道路上に設置することが想定されるが、そうなると歩行者の通行の確保等を考慮しなければならない。また、設置した場合も管理の問題もでてくる。このようなことをすべて考慮し、設置できるところには設置していきたい。

委 員 鹿児島市の団地には折り畳み式の椅子を設置したところもあると聞いた。このような形状なら歩行者にも邪魔にはならないのではないか。

事 務 局 そのような先進事例を調査し、本市でも導入できないか検討していきたい。

会 長 この他に意見等はありませんか。
⇒意見なし。承認。

(3) 令和2年度におけるバス路線の見直し等の計画(案)について
事務局より、事前配布資料に沿って説明し、承認を求めた。
⇒質疑なし。承認。

5 その他

事務局から次回の公共交通会議の日程を報告。

6 閉会